

【オリコンサルグローバルが予備設計と施工監理担当 ラオスの国道9号橋梁架け替え竣工】

ラオスの国道9号 橋梁架け替え竣工

オリコンサルグローバルが
予備設計と施工監理担当

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルは11日、ラ
オスの国道9号線にある橋
梁2本の架け替え工事が完
了したと発表した。同社が
予備設計と施工監理業務を
担当。安藤ハザマ・JEF
エンジニアリングが施工
していた。国道9号線はベ
トナムとラオス、タイ、ミ
ャンマーの4カ国を結ぶ
「東西経済回廊」の一部。
橋梁架け替え工事は「セ
カムカーム橋」（橋長約90



メートル）と「セタームアック橋」（約160メートル）を対象に実施した。事業費は約20億円。政府開発援助（ODA）の無償資金協力を得て実現し

た。橋梁形式は鋼・コンクリート合成床版橋。ラオス初の耐候性鋼材を使用した。

10日に現地で竣工式が行われた。サルムサイ外務大臣、日本政府から阿部俊子外務副大臣、オリコンサルグローバルの米澤栄二社長らが出席し、テープカットで橋の完成を祝った。写真。